



子育てに優しい、笑顔あふれるまちをめざします

りの推進を図り、適切な介護サービス
の提供に向け、介護保険制度の充実に努めます。特に、狭山台と奥富の介護予防施設を拠点とした通所型介護予防事業や認知症高齢者への支援などに取り組みます。
なお、1月で当市の高齢化率は20%に達しましたが、65歳では現役で活躍される方が大勢いるため、現役世代の拡大を意識した取り組みが必要と考えています。
障害者福祉では、地域自立支援協議会を設置し、自立・相談支援体制の充実を図ります。
また、児童福祉では、第二児童館の空調設備改修工事に併せ、つどいの広場を館内に整備し、子育て支援の拠点づくりを推進します。

快適で魅力のあるまちを めざして【都市基盤】

市民団体との協働など、市民参加によるまちづくりの推進に努め、土地区画整理事業や市街地再開発事業など、快適で魅力のあるまちづくりに取り組んでいきます。
良好な市街地の整備、特に中枢拠点の整備として、狭山市駅西口地区整備事業と一体的に取り組む狭山市駅霞野緑線整備事業は、電線類地中化および道路築造工事などを推進します。また、新都市機能ゾーン整備事業では、引き続き新都市線第4工区の工事に取り組みるとともに、狭山市駅橋上駅舎・東西自由通路整備事業を進めます。
狭山市駅東口土地区画整理事業では、区域内の都市計画道路、区画道路の整備などを進め、事業の早期完成をめざします。
上広瀬土地区画整理事業では、同事業の最終段階である換地処分、清算金の徴収・交付に向けて事業を推進します。
道路・交通網の整備・充実では、国道16号の拡幅工事が完成間近であり、市内全区間が4車線化します（3月26日開通）。東京狭山線は、未整備区間の赤坂の森公園周辺では、調整池の工事や環境に配慮し

た緑のトンネル化のための追加買収が進み全線開通に向けて整備を促進します。なお、掘兼地内でこの調整池への接続工事を進めます。

水道事業では、清浄で安全な水道水の安定供給に向け、適切な維持管理や配給水管の整備・改良を図り、重点事業として4か年事業の最終年度となる石綿管更新事業に取り組み、経営の効率化による経営基盤の強化に努めます。

公共下水道の整備では、生活環境の改善や浸水の防除を図るため、汚水対策として市街地調整区域第3期整備事業に取り組み、雨水対策として鶴ノ木洪水対策事業などを推進していきます。

活力のある産業を育てるまちを めざして【産業経済】

総合的な産業振興の推進では、企業立地奨励金の優遇制度で、立地企業を支援し、市内立地と既存企業の設備投資促進に努めます。
商業の活性化では、店舗・住宅の改修工事を補助する、店舗・住宅リフォーム補助金を継続します。
農業の活性化では、自然環境の保全や景観形成などに留意し、農地の多面的機能との整合性を図り、地場産農産物の生産性向上とブランド化や食の安全・安心、地産

地消に取り組みます。
雇用対策では、地域職業相談室の利用を促進します。

人を育み文化を創造するまちを めざして【教育文化】

生涯学習の拡充では、社会教育の推進体制を充実し、公民館で取り組む現代的な課題などに対応した特色ある事業との連携を図ります。また、スポーツ・レクリエーション活動の促進に努めます。

学校教育では、確かな学力と体力・規範意識を身につけた子どもの育成をめざし、地域に根ざし信頼され、特色ある学校づくりを推進します。そのために、地域総がかりによる学校支援や小学生農村宿泊体験などの体験学習にも取り組みます。

第一学校給食センター更新事業では、2学期からの新学校給食センターの稼働に併せオリジナルデザインの新食器を導入し、さらにはアレルギー対応食を全小・中学校へ配食します。

小学校の統廃合では、狭山台地区は22年4月を、入曽地区は23年4月を目的に取り組みます。

人権尊重意識の高揚では、講演会などの啓発活動を実施し、人権教育に積極的に取り組みます。

重点事業と予算

<環境共生>

- 緑のカーテン事業……………200万円
- 自然エネルギー活用促進事業……………200万円
- 第二環境センター設備改修事業…1億2,212万円
- 焼却灰セメント等資源化事業…1億7,741万9千円

<健康福祉>

- 第2期地域福祉計画策定事業……………250万円
- こども医療費支給対象年齢拡大事業…3億4,280万6千円
- 次世代育成支援計画後期計画策定事業…248万円
- 第三児童館改修事業……………4,000万円
- 急患センター(夜間診療)運営事業……………1,602万8千円

<都市基盤>

- 一般市道整備事業……………1億9,900万円
- 不老川橋りょう改修事業……………9,290万円
- いっ水対策事業……………1,143万円
- 狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業…24億3,800万円
- 新都市機能ゾーン整備事業……………1億1,516万円
- 狭山市駅橋上駅舎・東西自由通路整備事業…14億2,893万円
- 1街区公益保留床取得事業……………20億5,650万円
- 入曽駅東口地区市街地開発事業…1,394万2千円
- 狭山市駅霞野線整備事業……………7,265万円
- 既存市営住宅改修等事業……………4,950万円

<産業経済>

- 緊急雇用対策事業……………455万円
- 緊急失業対策事業……………500万円
- 基盤整備促進事業……………902万2千円
- 中心市街地活性化推進事業……………500万円
- 企業立地奨励事業……………8,200万円

<教育文化>

- 津南町との小学生農業体験交流事業…400万円
- 教育情報ネットワークシステム更新事業…1,082万円
- 道徳副読本整備事業……………775万7千円
- 学童保育室整備事業……………1,506万4千円
- 小中学校校舎等改修事業……………8,038万円
- 小中学校校舎耐震補強事業……………5億4,291万円
- 小学校統廃合推進事業……………6,335万8千円
- 小学校校舎空調設備改修事業…5億1,236万5千円
- 第一学校給食センター更新事業…5億3,425万1千円

<市民生活>

- (仮称)狭山元気大学開設事業……………21万3千円
- コミュニティ施設特別整備事業……………1,386万2千円
- 消防機械施設整備事業……………5,200万円
- 公共施設耐震改修事業……………2,023万円

<計画の推進>

- 総合振興計画・後期基本計画策定事業……………800万円
- 市庁舎設備等改修事業……………1億2,000万円
- 公用車更新事業……………1,636万円

安全で生活しやすいまちを
めざして【市民生活】

コミュニティ活動の促進では、市民活動の拠点となる集会所の建設への助成などを実施します。

市営住宅の適切な管理では外壁などの改修工事や地上デジタル放送への対応工事を実施します。

防災体制の充実では、総合的な危機管理体制を確立し、大規模災害などの緊急時の迅速で安全な救援・救護体制について、国・県などとの連携強化を図ります。また、自主防災組織の育成・強化および災害時要援護者対策の充実に努め、地域に根ざした防災訓練を実施す

るため、引き続き担当職員を自治会サポート要員として配置します。

消防・救急体制の充実では、高規格救急自動車の更新や化学防護服・ウィルス対応の防護服を配備し、救急救命士の育成に努め、AED救命講習会など応急救護の知識と技能の普及を図ります。

火災予防対策では、防火対象物、危険物施設への安全確保の徹底を図り、さらに、住宅用火災警報器などの普及の促進に努めます。

交通安全対策では、年齢層に応じた交通安全教室の開催や交通安全運動などにより、交通安全に対する市民意識の高揚を図ります。

防犯対策では、振り込め詐欺や不審者などによる犯罪が起こりに

くい地域社会の実現をめざし、市民が安全で安心して暮らすことができるよう、警察など関係機関と連携し、防犯に対する意識の高揚や防犯活動に取り組みます。

計画の推進のために

総合振興計画では、中期基本計画が22年度で終了することから、21年度から2か年事業で、後期基本計画の策定作業を進めます。この計画は、現計画の成果や課題、さまざまな社会経済状況の変化を踏まえた計画とします。

健全な行財政運営の推進では、市税などの徴収率向上対策や国・県補助金の確保に努め、未利用地

の売却収入の計上や新たな有料広告の掲載対象物の拡大を図ります。

行財政改革の推進では、現下の厳しい社会経済状況の中で、市民ニーズに即した質の高い行政サービスや、行政課題に適切に対応し、限られた財源や人材を最大限に活用できる簡素で効率的な行政運営を実現するため、引き続き行財政改革プランなどによる事務事業の精査と徹底した行財政改革を推進していきます。

今後、市民の皆さんとの相互理解のもと、郷土狭山発展のため「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向け、引き続き全力で取り組んでいきますので、一層のご理解とご協力をお願いします。